

【イベント名】

日本学術会議若手アカデミー 公開シンポジウム

【期日】 2020.07.25

【会場】

東京大学 研究者自宅:東京 (日本), 日本心理学会 事務局 (日本), 九州大学病院 (日本), 九州大学(伊都キャンパス) (日本), 広島大学 研究者自宅:広島 (日本), 大阪大学 (豊中キャンパス) (日本), 立命館アジア太平洋大学 研究者自宅:別府 (日本), 北海道医療大学 研究者自宅:石狩 (日本)

【概要】

「シチズンサイエンス・当事者研究が拓く次世代の科学：新しい世界線の開拓」と題し、熊谷晋一郎氏、向谷地生良氏、星川安之氏、松原洋子氏にご講演頂いた。パネルディスカッションを通し、当事者の目線を市民に拡大することで、市民が主役となる研究活動、及び、市民に寄り添う形での科学の発展・社会実装が重要であり、「共創」をいかに効果的に進めるかが今後の課題であることがあらためて理解された。

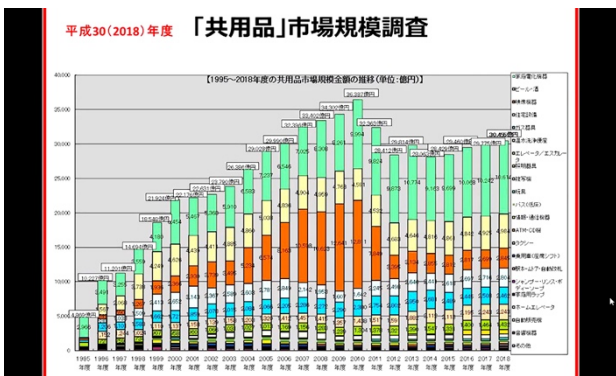


議論はリアルタイムで要約筆記された。

日本心理学会事務局の様子。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：日本心理学会事務局

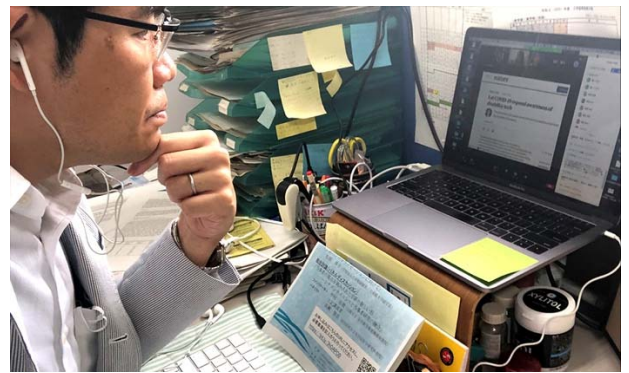


提示されたスライド。

発表には手話の同時通訳があった。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院



発表には手話の同時通訳があった。

九州大学(伊都キャンパス)の様子。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学(伊都キャンパス)